

今後の論点と質問の整理

1	見直しにあたっての基本的事項	2～3頁
2	今後の進め方	4頁
3	庁舎と公民館機能拡充施設	4頁
	(1) 庁舎	4頁
	(2) 公民館機能拡充施設	5頁
4	事業費	5～6頁
5	ZEB	6頁
6	防災	7頁
7	その他	7頁

1 見直しにあたっての基本的事項

No.	質問年月日	質問	回答	参考資料
1	R5. 11. 30	基本方針から見直していくということで、どこまで見直すという明確な方針はあるか。	見直し方針に基づいて見直しを行っていきます。なお、これまで本事業に投じてきたコストやそれによる知見を活用して無駄なく効率的に事業を推進していくため、事業そのものの是非や建設場所等は見直しには含めません。	見直し方針6頁 (2.見直しにあたっての基本的な考え方)参照
2	R5. 11. 30	町と山下・三浦JVの契約内容は。	契約の概要は以下のとおりです。 ・契約名：庁舎改築周辺整備基本計画・基本設計策定委託 ・期間：R3. 11. 30～R5. 3. 24 ・請負額：106,480千円 契約のより詳細な内容（仕様書等）が必要であれば改めて開示します。	-
3	R5. 11. 30	基本設計と実施設計は何が違うのか。	委員会で資料を使用して説明します。	東京都建築士事務所協会HP参照
4	R5. 11. 30	公共団体関係者、教育委員、社会教育委員はそれぞれ開発計画のどの時点から関わられているのか。	公共的団体の関係者等の皆様には、令和元年11月に設置した庁舎改築周辺整備事業検討委員会において、基本方針の策定から携わっていただきました。また、同様に令和4年5月に設置した複合施設検討委員会においても携わっていただいております。 今回新たな委員会の立ち上げにあたっては、基本的に公募委員の皆様と同時期ですが、各団体からの多くは、前回の委員と別の方を推薦いただいております。	-

5	R5. 11. 30	民有地についてどれほど移転交渉されてきたのか？等価交換の提案は行ったのか。	民有地の取得に係る交渉については、平成29年頃から行っていました。当時は交渉が難しい状況でしたが、令和4年度末に再度交渉を開始し、現在は見直し方針の中に資料として掲載できるまでの状況となっています。	見直し方針8頁 (◆整備範囲の拡張の可能性) 参照
6	R5. 11. 30	特に今年1月に行われた町長選で批判票(建築設計内容や単に建設費高騰だけが反対の理由ではないと思われる)が多かったことを、基本計画立案に関わった方々はどのように捉えているのか。	見直し前の情報が住民の皆様には充分お伝えできていなかった、情報発信が不足していたということは大きな反省点であったと捉えています。しかしながら、検討が充分になされていなかった訳ではないので、今後はそういった部分も含めてしっかりと情報を発信し、住民の皆様のご理解を得ながら進めていきたいと考えています。	見直し方針5頁 (◆情報公開の在り方の見直し) 参照
7	R5. 11. 30	5つの基本理念を継承することが前提とされているが、軽井沢町ランドデザイン・22世紀風土フォーラムとの現在の関係はどのようなものか。	基本計画では軽井沢グランドデザインを引用していますが、あくまで参考としたものであり、それに引っ張られるものではありません。また、22世紀風土フォーラムはグランドデザインを元に設置された機関であり、本事業との直接的な関係はありません。	基本計画6頁 (1.まちづくりにおける新庁舎・複合施設の役割について) 参照
8	R5. 11. 30	特に「4の国際親善文化都市にふさわしい庁舎」については、R2のアンケートではそれほど町民から求められているようには思われませんが、いかがか。	国際親善文化都市にふさわしい庁舎を『豪華さ』と捉える意見もあるかと思いますが、目指す庁舎は機能美(無駄のない形態や構造)と質実剛健で品格を兼ね備えた軽井沢らしさとしていますので問題はないと考えています。	基本計画資料編6頁(問12デザインについて) 参照
9	R5. 11. 30	プロポーザル実施要領の第9項一次審査(9)企画提案書のテーマ、ア～エにない要望も町から応募者に伝えられているようだが、あればご教示いただきたい。(応募者のプレゼンで「町から国際会議場機能も求められている」と話していた方がいた)	町から示した条件等については、プロポーザル実施要領、基本方針等の参考資料一式、プロポーザル前に提出された質疑応答書のみであり、それ以外のものではありません。左記のような提案は、これまでの町の方針や姿勢などを読み解く中での独自のものとなります。	HP(プロポーザル実施要領(公募型)、参考資料、質疑回答書) 参照

2 今後の進め方

No.	質問年月日	質問	回答	参考資料
10	R5. 11. 30	最も大切な町民に対するコミュニケーションのところの設計がちゃんとなされているのか。町民に対するコミュニケーションのプロフェッショナルがこの事務局のJV設計側にいるのか。	山下・三浦JVにはコミュニケーション専門の人材もおりますが、そういったことに長けた委員も本委員会には多いことから、ワークショップを計画する際は、内容・開催方法等について検討・調整のうえ開催していきたいと考えています。	-
11	R5. 12. 12	町として専門的なアドバイザーの雇用は検討できないか。	委員の意見やパブリックコメントを受けて、町側に立った専門的で具体的な助言等ができるようなアドバイザーの設置を前向きに検討していきます。また、起用の方法、内容等についても、今後早急に検討していきます。	-
12	R5. 12. 12	行政改革とDX、2つの委員会の進捗状況を知りたい。	必要に応じてそれぞれの委員会を担当する委員から説明・情報共有します。	資料2-1：行政改革資料 資料2-2：自治体DXワーキンググループの取り組み経過参照
13	R6. 1. 10	今後の住民との合意形成はどのような考えか。コンセプト段階から住民とのコミュニケーションをとっていくことは可能か。	No. 10の質問にもあり、コミュニケーションについては、委員会内でもしっかり議論を行う必要があると考えています。また、委員を含めた住民から生まれるアイデア等をしっかりと反映できるよう、計画の早い段階からコミュニケーションをとってきたいと考えています。	-

3 庁舎と公民館機能拡充施設

(1) 庁舎

No.	質問年月日	質問	回答	参考資料
14	R5. 11. 30	軽井沢町が保有している公共施設等の資産情報が欲しい。	公共施設の一覧は別紙資料のとおりです。 庁舎機能の分散化に係る検討はこれから行っていきます。	軽井沢町総合管理計画4・5頁参照
15	R5. 11. 30	深山荘とかユースホテルとか、ほったらかしになっている部分があるので、その辺とかももっと使えないのか。		
16	R5. 12. 12	分散という議論はどこにいったしまったのか。		

(2) 公民館機能拡充施設

No.	質問年月日	質問	回答	参考資料
17	R5. 11. 30	R4に公民館登録53団体に意見聴取しているが、その方々の現計画案への評価はどうか。	関係団体の意見を踏まえて基本計画を策定していますが、それに対する評価の聴取は行っていません。今後公民館機能拡充施設を検討していくにあたり、必要に応じて行います。	基本計画資料編7頁（中央公民館登録団体からの意見聴取）参照
18	R5. 11. 30	公民館改築計画について、町議会ではどのような議論がされてきたのか。（建設予算＝改築or改修or廃止、床面積及び機能拡充の内容）	見直し前（R5.2）は新庁舎開庁後に複合施設を建設する計画であったため、町議会では公民館改築計画についての具体的な検討はされていないと認識しています。	新庁舎建設工事基本設計23頁（整備手順）参照
19	R5. 11. 30	公民館の機能拡充を希望する町民は、現在利用している団体以外におられるのか。	現在利用している団体だけでなく、そうでない方も利用したくなるような施設をこれから検討していきたいと考えています。	見直し方針10頁（5. 公民館機能拡充施設の規模）参照
20	R5. 11. 30	既存文化施設との競合（exくつかけテラス）、民業圧迫（ホテル会議施設）の検討はなされているのか。	ご質問の内容も含めて公民館機能拡充施設に係る具体的な検討はこれから行っていきます。	見直し方針10頁（5. 公民館機能拡充施設の規模）参照

4 事業費

No.	質問年月日	質問	回答	参考資料
21	R5. 11. 30	今までかかったコストと、どの段階までお金がどれだけ使われてるのか。	令和元年度から4年度までの4年間で約3億円を支出しています。以下に主なものを記載しましたが、より詳細な資料についても必要に応じて開示します。 【主なもの】 ・基本計画・基本設計策 定 106,480千円 ・ガソリンスタンド移転補償 132,452千円 ・ボーリング・測量調査 13,948千円	見直し方針14頁（◆これまでにかかっているコストの活用）参照
22	R5. 11. 30	基本設計と実施設計は、どれくらい実際の実務でコストに違いがあるのか。	概ね「基本設計3：実施設計7」と考えていますが、規模や仕様書の内容等により変動することがあります。	「国土交通省 官庁施設の設計業務等積算基準」（新・建築士制度普及協会）による

23	R5. 11. 30	設備設計とか今後の管理維持費コスト等の研究について山下・三浦JVに協力会社があるのか、その協力会社に対して、この基本設計費というのほどの程度分担されているのか。	全ての項目について、山下・三浦JV内で検討・研究等を実施しており、協力会社はありません。	-
24	R5. 11. 30	近隣市町の役所・役場の職員数に対するサイズ、コスト、面積などを比較したものが欲しい。	御代田町と佐久穂町との比較を整理しましたが、今後必要に応じて新たな情報をお示しします。	見直し方針9頁 (◆事業費と平米単価)、 資料2-3近隣自治体比較参照
25	R5. 11. 30	基本設計時点で庁舎48.4億となっているが、その他費用も含め、結局いくらになるのか。	その他費用については、基本計画時は概算額で17億円でした(内訳は以下のとおり)。 【概算額内訳】 ・外構工事費 約9億円 ・既存施設解体費 約3億円 ・新規備品購入費 約2億円 ・システム等の移転費 約3億円 現段階でお示しできる数字はありませんが、これからの検討の過程でしっかりと開示していきたいと考えています。	基本計画47頁 (1)事業費)、 HP(新庁舎建設工事基本設計工事費概算資料)、資料4: 近隣自治体比較
26	R5. 11. 30	本計画のために起債が考えられているが、町民の理解ほどの程度得られているのか。	理解度を推し量るのは難しいですが、パブコメを経て見直し方針を策定していることから一定の理解を得ていると考えています。	見直し方針13頁 (◆財源に対する考え方他)参照

5 ZEB

No.	質問年月日	質問	回答	参考資料
27	R5. 11. 30	ライフサイクルでどういうコストがかかるのかというのを、かなり長期に渡って計算して欲しい。	基本設計の段階で比較検討はしておりますが、より具体的な計算については実施設計時に行う予定としていました。基本設計時点でも概算値は算出できますので、見直しの際に資料としてお示ししていきます。	-
28	R5. 11. 30	初期投資に対して、ZEB等にするによりランニングコスト面でいくら削減できるといった資料が欲しい。	検討していく際に重要な視点であると考えていますので、その際に資料としてお示ししていきます。	-

6 防災

No.	質問年月日	質問	回答	参考資料
29	R5. 11. 30	浅間山の噴火や地震に対し、どの程度耐久性があるのか。	当町は地震や洪水の他浅間山の噴火や積雪といった災害に対応する必要があり、想定される災害レベルに応じた防災機能を確保しつつも、想定を超える災害には「減災」の考えのもと、被害を最小限に抑える計画とします。安全性の目標等については資料をご覧ください。	基本設計37～39頁（1. 災害発生時における庁舎機能の確保）、基本設計17～18頁（1. 基本設計方針と耐震性能）参照

7 その他

No.	質問年月日	質問	回答	参考資料
30	R5. 11. 30	移住者っていう形でこの軽井沢の人口が増えていく可能性も踏まえた中長期的なビジョンとそれに耐えうる庁舎か。	コロナの影響により想定以上に人口が増えていますが、町の人口ビジョンとしては、2030年頃をピークに人口減少を見込んでいます。本事業においても人口減少やDX化、高齢化などを見据えて推進していく必要があると考えています。	長期振興計画30頁（2. 将来フレーム～目指すべき10年後のまちの人口規模～）参照
31	R5. 11. 30	町民が町行政に求める事の中で、新庁舎建設・公民館改築の他に、行政の取組として優先度が高いとされるものは何か。	町の考える課題は、自然環境の保全、交通渋滞の解消等様々なものがあり、住民の皆様が行政に求めるものも同様と捉えています。	長期振興計画19～頁（2. 町民等意識調査からの課題）参照